

# Central Daily Market Report

2023年10月31日(火)

セントラル短資株式会社 総合企画部

## ●資金需給

単位：億円	2023年10月31日 需給速報	2023年11月1日 需給予想	2023年11月2日 当社予想			
銀行券	0	▲ 900	▲ 500			
財政	▲ 3,000	▲ 29,100	▲ 7,000			
資金過不足	▲ 3,000	▲ 30,000	▲ 7,500			
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入						
CP等買入	4,000	▲ 1,800		▲ 200		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						
社債等買入		▲ 100				
気候変動対応オペ						
E T F買入						
国債補充供給	▲ 53,000	47,400		53,000		
※下月資金供給用担保提供供給						
当預増減	▲ 6,500	22,800		▲ 7,500		
当座預金残高	5,517,100	5,539,900		5,532,400		
準備預金残高	4,803,400					
積み終了先	4,802,400					
超過準備	4,802,300				11月1日以降の残り所要積立額	
非準備預金先	713,700				積数	8,400
					1日平均	600
積み期間(10/16~11/15)の所要準備額						4,006,500
準備預金進捗率	実績	99.79%		日数		51.61%

## ●2023年10月31日の市場動向

### <インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、邦銀業態からの調達を中心に▲0.02~▲0.01%近辺での出会いとなった。月末要因によりビッドサイドの一部に調達を控える先もいたため、レート水準は若干低下する流れとなり、全体の出会いレンジも拡大する展開となった。ターム物はショートターム物での引き合いが散見された。

30日から31日にかけて行われた金融政策決定会合では、長短金利操作の運用をさらに柔軟化することが決定され、長期金利の目標を引き続きゼロ%程度としつつ、その上限の目途を1.0%とし、大規模な国債買入れと機動的なオペ運営を中心に金利操作を行うこととなった。

### <レポ市場>

GC T/Nは、▲0.40~▲0.11%程度での出会いとなった。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### <短国市場>

31日のアウトライト市場は動意なく閑散な中、特段の出会いは見られなかった。

### <CP市場>

CP発行市場は、小口の案件が多く見られたなか、一部業態から大型発行も実施された。発行レートに目立った変動は見られなかった。

## ●入札結果

本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。

## ●2023年11月1日の予定

\*米FOMC(2日目) \*10月のISM製造業景況指数 \*9月の米建設支出

## ●短期金融市場関連指標

2023/10/31	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	最低	最高	平均	最低	最高	平均	売買参考値	平均値	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)	為替(17時)
単位:%									0.949	0.059	30,858.85	161.89	149.10-11	150.28-30
O/N	▲ 0.087	0.001	▲ 0.020				-	▲ 0.270						
T/N							-	▲ 0.179						
S/N							-	-						
1W	▲ 0.025	▲ 0.015	▲ 0.022				-	▲ 0.169						
2W							-	▲ 0.169						
3W			▲ 0.015				-	▲ 0.169						
1M	▲ 0.001	0.000	▲ 0.001				-	▲ 0.183						
3M							▲ 0.200	▲ 0.192						
6M							▲ 0.171	▲ 0.118						
1Y							▲ 0.054	▲ 0.084						
日付	10/24	10/25	10/26	10/27	10/30									
日銀当預残	5,498,300	5,516,400	5,512,600	5,504,000	5,523,600									
準備預金残	4,813,100	4,809,200	4,818,600	4,808,200	4,816,200									
マネタリーベース	6,752,600	6,770,800	6,768,300	6,760,100	6,779,400									
無担O/N加重平均	▲ 0.014%	▲ 0.018%	▲ 0.019%	▲ 0.013%	▲ 0.016%									
コール市場残高	178,569	178,539	181,825	184,039	183,872									
うち無担	151,121	150,159	153,919	156,534	157,667									
うちO/N	81,634	78,452	82,212	84,687	87,055									
うち有担	27,448	28,380	27,906	27,505	26,205									

## ●オペ結果

種類	オファー額 (億円・ 百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付 利率*	応札総額 (億円・ 百万ドル)	落札総額 (億円・ 百万ドル)	按分レート ・利回較差 ・価格較差	全取レート ・利回較差 ・価格較差	平均落札レート ・利回較差 ・価格較差	換分 比率
国債買入(固定利回り方式)(残存期間5年超10年以下)※1		2023/11/1		0.110	0	0				
国債買入(固定利回り方式)(残存期間5年超10年以下)※2		2023/11/1		0.355	0	0				
米ドル資金供給		2023/11/2	2023/11/9	5.580	0	0				
国債補充供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)		2023/10/31	2023/11/1	▲0.450	54,127	54,127		▲0.450	▲0.450	
国債補充供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)		2023/10/31	2023/11/1	▲0.450	0	0				

\*オペの種類が、国債補充供給(国債売現先)の場合は、上限期間利回り。国債買入(固定利回り方式)の場合は、固定利回較差。  
※1固定利回較差の結果、10年利付国債372回の買入利回りは、1.000%となる。買入金額に制限を設けずオファー。※2固定利回較差の結果、10年利付国債361回の買入利回りは、1.000%となる。買入金額に制限を設けずオファー。

## ●日銀政策決定会合・結果

### ●当面の金融政策運営について

1. 日本銀行は、本日の政策委員会・金融政策決定会合において、長短金利操作の運用をさらに柔軟化することを決定した。具体的には、長期金利の目標を引き続きゼロ%程度としつつ、その上限の目途を1.0%とし、大規模な国債買入れと機動的なオペ運営を中心に金利操作を行うこととする。こうした運用のもとで、日本銀行としては、粘り強く金融緩和を継続する方針である。

長短金利操作、資産買入れ方針については、以下のとおりとする。

(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)

①次回金融政策決定会合までの金融市場調節方針は、以下のとおりとする(全員一致)。

短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。

長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。

(2)長短金利操作の運用(貸成8反対)

長期金利の上限は1.0%を目途とし、上記の金融市場調節方針と整合的なイールドカーブの形成を促すため、大規模な国債買入れを継続するとともに、各年限において、機動的に、買入れ額の増額や指値オペ、共通担保資金供給オペなどを実施する。

(1)資産買入れ方針(全員一致)

長期国債以外の資産の買入れについては、以下のとおりとする。

①ETFおよびJ-R-E-I-Tについては、それぞれ年間約12兆円、年間約1,800億円に相当する残高増加ペースを上限に、必要に応じて、買入れを行う。

②CP等は、約2兆円の残高を維持する。社債等は、感染症拡大前と同程度のペースで買入れを行い、買入れ残高を感染症拡大前の水準(約3兆円)へと徐々に戻していく。ただし、社債等の買入れ残高の調整は、社債の発行環境に十分配慮して進めることとする。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入